

生態工学 2011 年第 3 回理事会議事録

日 時：2012 年 2 月 10 日（金）14:30～15:20

場 所：東京文化会館

出席者：会長、副会長、各委員会委員長および庶務理事

【総務委員会】

2011 年度生態工学会 第 3 回理事会

(1) 会員数・賛助会員数に関して報告があった。

(2) 報告事項
特になし。

以上

【編集委員会】

2011 年度編集委員会活動報告（2 月期）

下記の報告がなされた。

(1) 生態工学会誌の発刊

生態工学会誌「生態工学」23 巻 2 号～24 巻 1 号(2011 年 4 月、7 月、10 月、2012 年 1 月発刊)を発行した（内容：原著論文 11（うち Express 論文 2 報）、短報 1、お知らせ、投稿規程、総ページ 136）。なお、2012 年 1 月 18 日時点での査読中の論文は 2 報（うち Express 論文 1 報）である。また、23 巻 4 号までを J-STAGE 上の電子ジャーナルとして公開した。

種類	第 23 巻			第 24 巻
	2	3	4	1
特別寄稿				
特集論文				
原著論文	3	2	4	2
短報				
総合論文				
解説・資料				
受賞記念寄稿		1		
ニュース・企画・報告	1	1	1	1

(2) 学会賞候補者の推薦について
論文賞、奨励賞候補者の推薦を行った。

以上

【企画委員会】

2011年度企画委員会活動報告

下記の報告がなされた。

- (1) 日本地球惑星科学連合 2011 年大会 (合同開催)
日 時 : 2011 年 5 月 22 日 (日) ~ 27 日 (金)
場 所 : 幕張メッセ (千葉県千葉市)
主 催 : 日本地球惑星科学連合
特記事項 : オーラルセッション : 「惑星と閉鎖生態系における生物のシステムー微生物からヒトまで」において、7 件の講演を実施した。

- (2) 2011 年度生態工学会年次大会 (主催)
日 時 : 2011 年 6 月 15 日 (水), 16 日 (木)
場 所 : 宇宙航空研究開発機構 調布航空宇宙センター (調布市)
参加人数 : 69 名、33 機関 (会員 48 名、学生会員 7 名、非会員 10 名、非会員学生 4 名)
特記事項 : 一般セッション口頭発表 17 課題、ポスターセッション 13 課題
特別講演会 : 「放射性物質の生態影響ー生態工学会として何ができるのか?ー」
 - ① 調講演「放射性物質の生態影響」大桃洋一郎 (環科技研)
 - ② 演「土壌放射能の除染に用いた場合に大量発生する廃棄植物体の閉鎖型処理システムの必要性」 多胡靖宏 (環科技研)

- (3) 生態工学定例シンポジウム (主催)
日 時 : 2011 年 11 月 24 日 (木) 10 : 00 ~ 17 : 00 情報交換会 17 : 00 ~ 19 : 00
場 所 : 東京大学 弥生講堂一条ホール
参加人数 : 47 名 (会員 20 名、一般 8 名、学生 19 名)
特記事項 : 学生を中心に多くの参加があり、盛会であった。
基調講演 「震災を通して考える食料生産の現状と未来」
プログラム (敬称略)
 - ① 日本大震災における農林水産関係被害と対応 真鍋 郁夫 (農林水産省経営局災害総合対策室)
 - ② 地土壌の放射能汚染 塩沢 昌 (東京大学)
 - ③ チゴ施設栽培の復興に向けて 山田 久也 (ヤンマーグリーンシステム(株))
 - ④ 災復興とスマートシティプロジェクト 佐々木経世 (イーソリューションズ株式会社)
 - ⑤ 波後の水産復興を考える 黒倉 寿 (東京大学)
 - ⑥ 水産加工業の被害状況と復興 林 英一 (技術士事務所 E&H-i)

- (4) 日本マイクログラビティ応用学会第 25 回学術講演会 (共催)
日 時 : 2011 年 11 月 28 日 (月) ~ 11 月 29 日 (火)
場 所 : IHI 横浜事業所内ゲストハウス (横浜市)
主 催 : 日本マイクログラビティ応用学会
特記事項 : 2 日間にわたって特別セッション「生態工学セッションー人類活動圏の拡大ー」を企画し、13 件の講演を実施。別途毛利ポスターセッションに生態工学関連テーマで 2 件の発表があり、ポスター発表全 31 件中 2 件の最優秀賞を獲得した。

(5) 第 55 回宇宙科学技術連合講演会（共催）

日 時：2011 年 11 月 30 日（水）～12 月 2 日（金）

場 所：愛媛県県民会館（松山市）

主 催：日本航空宇宙学会

特記事項：オーガナイズドセッション「宇宙で生きる！～人間居住環境拡大に向けて～」を企画し、12 月 2 日（金）に 15 件の講演を実施。常時 30 人程度の参加者があり活況であった。

(6) 定例研究会

第 1 回

テーマ「生命維持システム研究の歴史と生態工学会の 20 年

－3000 件の文献調査から見える日米欧ロの研究と中国の躍進－」

日 時：2011 年 5 月 20 日

会 場：駿河台記念館

講 師：宮嶋宏行先生（東京女学館大学）

第 2 回

テーマ「最近の重要且興味深い元素：ウラン、プルトニウム；

希土類元素；ヒ素、カドミウム」

日 時：2011 年 10 月 21 日（金）

場 所：東京文化会館

講 師：不破 敬一郎先生

第 3 回

テーマ「生物への光の利用事例について」

日 時：2012 年 2 月 10 日（金）

場 所：東京文化会館

講 師：向阪 信一先生

日本マイクログラフィティ応用学会第 25 回学術講演会
および第 55 回宇宙科学技術連合講演会の状況報告

生態工学会企画委員会委員 大西 充
(JASMAC-25 および第 55 回宇科連生態工学会連携企画オーガナイザー)

○日本マイクログラフィティ応用学会(JASMA)主催の日本マイクログラフィティ応用学会第 25 回学術講演会(JASMAC-25)は平成 23 年 11 月 28 日(月)～29 日(火)に IHI 横浜事業所ゲストハウスにて開催。

- *一般研究発表、特別セッション、特別講演、毛利ポスターセッションを実施
- *生態工学会は当該講演会を共催し、特別セッション「生態工学セッションー人類活動圏の拡大ー」を企画。
- *当該セッションで 13 件の講演があった他、別途毛利ポスターセッションに生態工学関連テーマで 2 件の発表があり、ポスター発表全 31 件中 2 件の最優秀賞を獲得。

○日本航空宇宙学会(JSASS)主催の第 55 回宇宙科学技術連合講演会は平成 23 年 11 月 30 日(水)～12 月 2 日(金)に愛媛県県民文化会館にて開催。

- *特別講演 3 件をはじめ、14 分野の一般セッション、21 のオーガナイズドセッション、学生セッションが実施。
- *第 48 回～54 回宇科連に引き続き、大西委員、北宅委員長の企画による「宇宙で生きる！～人間居住環境拡大に向けて～」と題するオーガナイズドセッションを企画、12 月 2 日(金)に 15 件の講演。
- *常時 30 人程度の参加者があり活況であった。

企画委員会 2012 年度活動 (案)

2012 年度は以下の企画を予定している。

- (1) 2012 年度生態工学会年次大会 (主催)
日 時：2012 年 6 月 16 (土), 17 日 (日)
会 場：北里大学獣医学部 十和田キャンパス (青森県十和田市)
- (2) 日本地球惑星科学連合 2012 年大会 (合同開催)
日 時：2012 年 5 月 20 日 (日)～25 日 (金)
会 場：幕張メッセ (千葉市)
主 催：日本地球惑星科学連合
- (3) 生態工学定例シンポジウム (主催)
日 時：2012 年 11 月 9 日 (金)
会 場：東京大学 中島董一郎記念ホール/弥生講堂一条ホールアネックス

- (4) 第55回宇宙科学技術連合講演会（共催）
日 時：2012年11月20日（火）～11月22日（木）
会 場：別府ビーコンプラザ（別府市）
主 催：日本航空宇宙学会

- (5) 定例研究会
理事会後に実施する予定

【事業推進委員会】

2011 年度事業推進委員会活動報告

下記の報告がなされた。

- (1) 支部活動の活性化のため、関西支部主催研究シンポジウム立ち上げ企画を支援した。
 - ・ 関西支部による研究シンポジウムは 2012 年から 12 月に開催する。
実施主体は、関西支部と事業推進委員会とが協力して実施する事とした。
 - ・ 農業気象学会近畿支部と共催で実施し、参加者を広く集める
 - ・ 開催場所、運営は大阪府立大学の協力を得て実施する。
 - ・ 事業推進の観点から企業側の講演発表も実施する。
- (2) APS 研究会の支援事業
アジア太平洋サルベント開発研究会（東工大）の支援事業を引続き行った。
- (3) NPO 法人生態工学研究機構と連携し、研究機構事業の推進の支援を行った。

2012 年度事業推進委員会活動計画

- (1) 昨年度企画した関西支部主催研究シンポジウムを関西支部に協力して実施
 - ・ 開催時期 1 2 月初旬を計画
 - ・ 農業気象学会近畿支部と共催で実施する
- (2) NPO 法人生態工学研究機構の事業推進支援を継続実施する。

以上